

⑫学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	67.5	↓
⑬自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	24.8	↑
⑭課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	30.5	↑
⑮学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	38.6	↑
⑯学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	30.6	↑
⑰友達関係に満足していますか。	63.2	↑
⑱普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか。	49.9	↑
⑲国語の勉強は好きですか。	23.8	↓
⑳算数の勉強は好きですか。	34.8	↑

<考察・まとめ>

1 主な成果

○全国や岐阜県と比較して、国語・算数の正答率が高い。

<家庭の取組>

- ・質問紙①②③⑩⑪に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国・岐阜県と比較して多いことから、基本的な生活習慣が身に付いている児童が多く、家庭学習や読書の時間が定着していると考えられます。
- ・質問紙④⑤に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国・岐阜県と比較して多いことから、目標をもって取り組んだ成果やよさを家庭や学校で適切に認められていると考えられます。

<学校の取組>

- ・「記述式」の問題に対する正答率は低いですが、全国・岐阜県と比較すると高いです。引き続き、授業中に自分の考えを書いたり、学習のまとめを書く際にキーワードを使って自分の言葉（文章）で書いたりする機会を位置付けていきます。
- ・「思考・判断・表現」の問題に対する正答率が全国・岐阜県と比較して高いです。授業に対話的な活動を位置付け、自分の考えを根拠をもとに相手に話したり、相手の考えを理解し説明したりする機会を多く位置付けた成果と考えられます。

2 今後の取組

<学校の取組>

- ・国語・算数ともに正答率が全国・岐阜県と比較してやや高いですが、質問紙⑱に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国と比較して低いため、一人一人の子どもたちが、「できた。分かった。参加できた。」と実感できるように、今後の授業や学校生活においては、（１）対話的活動を位置付けること（２）自分の考えを記述すること（３）読書を推進していくことの3点に重点的に取り組んでいきます。
- ・質問紙⑳に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国・岐阜県と比較して低いです。調べ学習でインターネット検索をするほか、学習の中で自分の考えを相手に発信したり、相手の考えを理解し自分の考えを広げたり深めたりできるよう、タブレットを効果的に活用していきます。

<学校と家庭の連携>

- ・質問紙②に、「よく当てはまる」と回答した児童の割合が全国・岐阜県と比較して高いですが、半数以上の児童が「毎日、同じくらいの時刻に寝ていない」ことが分かります。SNSの利用時間が長くなり、寝る時刻が遅くなる小学生や中・高生が増えている現状を踏まえ、SNSの効果的な活用と弊害について、学校と家庭が連携しながら子どもたちに指導していきます。